

# 第16回JDA春季ディベート大会 判定用紙

日付: 2010年3月7日

試合会場 決勝  
セ-417

肯定側: D-mut-E

否定側: X-hin-i ~

判定理由・コメント

① 勝利

Neg ① 負 → 2つの問題があるが、カバーできなかった。

② 低めの確率で増加。 → 弱 かしゆる。

私はとあるところを3ヶ月  
おきに見てみた  
プランの変化と合わせて  
予測。

Aff.. SQ 8% GROUP はXを出さない。

S.1 両分断して 立用せよ。

サイエンス結果 ok.  
アドバイス ?  
かんたん ok. ) → total △.  
立用せよ。

Value 危険性は早くさりたい。今から予測しない。

この試合における勝者は: 肯定 ↳ Aff.

ベストディベーターは: 田中 (D-mut-t).

審査員署名: \_\_\_\_\_

## 第16回JDA春季ディベート大会

## 判定用紙

日付: 2010年3月7日

試合会場	決勝 セ-417
------	-------------

肯定側:

D-Met E

否定側: ~~アドバイス一貫性に限る~~

## 判定理由・コメント

1. Plan & Topicality 評価 (直近)
 

(extraneous issue, 国際化 speed 過) 1
2. Planck 2A. 補助全は新規は否遠でないもの、その結果  $\frac{1}{3}$  未満で、自立努力と相違する部分が多い、かつ現在の議論は新成果不明 (新規性を云ひながら未検証であるレベル)  
 2B. 可能性評価。details は豊富で要がよくわかる。  
 = エビデンス lack は本質的ではない。
- 2C. おろ程度後発化ますが、 $\frac{1}{3}$  のみ。
3. ADP: これは、全体的に 2NC を評価。  
 Impact は他のそれより弱い。  
 criterial は環境問題を issue し成立した新規はあるが、政府がべきを、も、相手が criterial と強く争っておらず。
4. Neg: これは、PAI は成立。Impact は不明たらしく、それを  
 どうか向けて far を採りながら審議の精神に反する、  
 criterial が強い。
5. Neg は本来、鉄道が運んでいた方がいいが、しかし現状でいう言葉を  
 入れなければならない。この試合における勝者は: Neg 4-4  
 ベストディベーターは: 片桐久太郎

審査員署名: \_\_\_\_\_

# 第16回JDA春季ディベート大会 判定用紙

日付: 2010年3月7日

試合会場	決勝 セ-417
------	-------------

肯定側:

D-Net E

否定側:

たぶん

判定理由・コメント

・ 近づかずから 地雷のリスク.

・ 今のは たぶんから

・ Taxをかけろ: これが主張

→ の1ペーペンレミテドは→ ③

③ ~~たぶん~~ ~~たぶん~~ ~~たぶん~~

→ <sup>Key</sup> <sup>ねえとねじねうけのまわ</sup>  
ねえとねじねうけのまわ  
すーべーのはと、往往的<sup>enidame</sup>  
にあらわすATの37%が  
法に付く。

・ D-R. 用事かわからぬでほほえ。

・ DA 中止 → <sup>n/a</sup> } <sup>仕事</sup> <sup>仕事</sup>  
仕所行者 → <sup>n/a</sup> } <sup>仕事</sup> <sup>仕事</sup>

(達成性の話は、 incontrare は 仕所行者の中止で止め。)

3の3270  
WSIS 世界が減るが、 1ペーペンレミテド  
かれよ。

⇒ D-R は wce

この試合における勝者は: D-Net E

ベストディベーターは: 田中

審査員署名: \_\_\_\_\_

# 第16回JDA春季ディベート大会 判定用紙

日付: 2010年3月7日

試合会場	決勝 セ-417
------	-------------

肯定側: DNet 正

否定側: タンシーフィクスに限る。

Good! 判定理由・コメント  
肯定側が両チームとも説明が分かりやすい。(早口すぎると読みづらい)

全体  
肯定側の主張には、一早く温暖化がこれで起きる。

- 肯定側の主張には、一早く温暖化がこれで起きる。  
 ⇒ただし、ここで肯定側の主張が有効な論拠とは判断できない(下記参照)  
 ⇒より否定側。(アーリヒトは残る)

メリット:

・温暖化

- 影響はある。⇒ただし、どの程度、如何に影響があるか。(日本と大半違う)不明か。

① 人気のこへん(人気者) ⇒ 一定の結果があることは分かる。  
 ⇒ただし、確証の缺乏あり。どこまで全体に影響あるか不明。  
 (今日の論述では金(投資)が重要と考えられて)

② 企画の革新 ⇒ 技術が大事と言える。  
 不足の論述の缺乏あり。  
 ① 稼働率による(稼働率 うこう)  
 ② 補助金による。

・雇用(?)

の川を流れ立派以上、次に見る影響発生。

(⇒ 特に議論に立たない、テーマに立たない)

→ 上記の企画の革新、それをもとにしてXリット発生せず。

デメリット:

・軟鋼業。----、アーリヒの主張がどうしてわかる不明。

.なぜかに価格が上がりすぎる。金額でしか見えない。

⇒見てみるといろいろ複雑不明。

・中小企業へ→現状よりは

悪くなるよう。

⇒今よりはいかない

この試合における勝者は: 否定側

ベストディベーターは: 中田 (DNet 正)

・低所得へ→現状よりは

悪くなるよう

(社会的弱さい一層かばん⇒どちら不利)

審査員署名:

# 第16回JDA春季ディベート大会

日付: 2010年3月7日

肯定側:

D-Net E

判定理由・コメント

DA1: 小さく残る。

・鉄鋼: 貨物競争力は keepできる  
|調整金がある  
└ ので、人件費に大きな impact は  
起きないと。 → 一応 RISK は  
ゼロとは言えないとは思うので  
Slight な incremental RISK が  
残る。

・中小: SQでもスリムな RISK は  
ある。(Uniqueness あります)。  
ただし plan に対する incremental Risk  
は否定できない。

DA2: slight

3ヶ月のうちいくらくらは再分配できる  
RISK は前にもある。多少の影響は  
否定できない。たとえば、土生産業か  
他の EU で言うほどやまないほど中  
心となるまで RISK は Afflictive で  
いる。

Case: Flipped

Aff. の言う DR「逆にコストやめる」  
はよくやるべき、という価値基準は

## 判定用紙

試合会場	決勝 セ-417
------	-------------

否定側:

つけめん

よくわかる。争うのは Plan で  
「かかってきるか」という点につまる。

① アクウンス効果

ほとんどの評価できません。  
ちょっとしたカリキュレーションと車両の例では  
の中で、Carbon Tax がどうなっています?  
② 消費者: かかるのかして plan  
による効果はほとんど見えません。  
→ Stability には slight

③ 投資

アクウンス効果(結局 ADI に影響)  
都市は同時に投資につながって  
という方針になるんでありますと、  
それで先に金をうちみん上、  
現状は)投資はへどでござるそ  
得ない。(キャッシュストリームに  
くらべたとき) 従って省エネ、  
環境にへづて SQ で各々に  
金利。  
まだそれが Best となります。  
よって Case=Flipped & DA でいいと

この試合における勝者は:

Neg つけめん

ベストディベーターは:

千葉氏

審査員署名: